



雪とローソクのあかりの造形に囲まれて音楽を楽しむ雪あかりコンサートが北国博物館で行われました。

今年は、結成35周年を迎えた鈴石女声コーラスの皆さんが出演し、『雪がはなびらのように』や『少年時代』など、おなじみの曲を披露。オカリナ同好会ピーヴァの皆さんが賛助出演し、温もりのある音を奏でるなど北国ならではの冬のひとときを過ごしていました。

1/26 雪あかりコンサート 冬を心温かく

2/7 - 11 なよろ雪質日本一 フェスティバル



冬の一大イベントの同フェスティバルが南広場などで開催され、親子や家族連れなどで賑わいました。ジャンボすべり台・チューブすべり台などは子どもたちの人気を集め、ステージではさまざまな催しが行われました。「北の天文字焼き」は今年で20回目の節目を迎え、大きな花火とともに名寄の冬の夜空を彩りました。会場に並んだ国際雪像彫刻大会の作品は、夜になると鮮やかにライトアップされ、訪れた人々の目を楽しませていました。



2/6 ホワイトマスター授賞式 1団体が受賞

北国博物館にて「2007年度名寄市ホワイトマスター」の授賞式が行われました。ホワイトマスターとは、冬の暮らしを推進する利雪親雪事業に関わり、他の模範となる活動をしている方に贈られる称号です。

今回は、名寄タイムバトル実行委員会（竹内 利行 会長）に贈られました。同実行委員会は、平成5年の設立から現在に至るまで、名寄川の氷上に立てたポールが解氷と同時に倒れる日時を予想する「なよろ・タイムバトル」（旧名称は「なよろ・アイス・クラシック」）を実施し、名寄の冬の暮らしを楽しむ取り組みを行っています。

